



Sekisyo 通信



R6・8・13

NO, 13

文責:校長 酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子



☆☆ この夏、子どもを地域に託す!? ☆☆ (HPのみの配信です。)

夏休みも本日が25日目、37日間あったはずの夏休みも2/3が過ぎました。子ども達にとっては「もうそんなに」、保護者の皆様にとっては「やっとここまで…」の夏休みでしょうか!?

休みに入ってからすぐに、日課にしよう朝の散歩に出かけました。学校の近くに差し掛かると、何人かの子ども達の影が見えます。よく見るとそれに続くお父さんお母さんの姿。手には、防災用でしょうか小型のラジオ。しばらくすると始まりましたラジオ体操、時刻はちょうど6時半。サンダル履き、目をこすりながらの体操は、お世辞にも元気いっぱいとは言えませんが、夏休みの風物詩に気持ちも癒されます。

加速する猛暑と歯止めのかからない少子化が要因の一つでしょうか、一昔前までは、どこでも見られた当たり前の風景が今では貴重です。



石小では、今年度創立10周年を迎え、「地域と共に新たな一歩!」をサブテーマに掲げています。7つの学校が統合した新石川小ですが、それぞれの地域の良さや関わりはできるだけ絶やしたくないとも考えています。

1学期の初め、方部ごとに児童が集まり、子ども110番の家と危険個所の確認をしました。実際に現場に足を運ぶことはできませんが、ICTを駆使すればその場に立っているよう。しかし、バスや止むを得ない事情で車での送迎が主となっている子どもたちにとっては、なかなかピンと来ないようです。また、方部ごとに集まった子ども達が、互いの名前や顔を知らないことも珍しくありません。なんとこの日、数人の児童が校内で迷子になるというアクシデントもありました。

本校は、来年度いよいよ町内唯一の小学校となります。それぞれの方部が培ってきた文化も大切にしながら、更に積極的な教育を推し進めることが出来るよう、地域のつながりを大事にすることも、学校の大きな役目の一つと感じています。この夏、方部では様々なイベントが準備され、地域文化の伝承の担い手として、練習(稽古)に励んでいる児童もいると聞きました。これからの地域行事を紹介します。(それにしましても、夏祭りの中止はとても残念でしたね。関係された皆様のご心労ご察いたします。)



☆双里青年会主催盆踊り	8月14日(水)
☆第7回母衣盆踊り大会	8月15日(木)
☆石川町自治センター主催 盆踊り・灯籠流し	8月17日(土)
☆イシニク無料開放日	8月21日(水)
☆さわだ交流祭(子ども神輿・盆踊り)	8月31日(土)
☆なかだのささら奉納	9月8日(日)
☆石川町各地区祭礼	9月14・15日(土日)

残り少ないこの夏、地域に子ども達を託してみたいかでしょうか?人々とふれあう中で多くの学びがあること請け合いです。宿題よりもっと大切な発見があるかもしれません。(あまり大きな声では言えませんが…)

さて、前出のラジオ体操ですが、予定通り7月いっぱい終了となりました。時代ですかね～。

私事ですが夏の日課とするはずの散歩も、暑さに耐えきれず無期限の延期としました。ちなみに復活のめどは今のところたっておりません。(笑)では、残された夏休み子ども達をよろしくお願ひします。

☆☆☆ 頑張っています、夏休み中の子ども達 ☆☆☆

連日の猛暑で、学校の職員室前の寒暖計は朝10時には30度近くに急上昇。そんな中でも、空調を上手に利用したり、開始時刻を早め、短い時間で効率化を図ったりしながら取り組んできた子ども達の活躍を紹介します。

全国大会でも充実のパフォーマンス！

8月7日（水）は、福島市での県大会を完全優勝で勝ち抜き、東京ビックサイトでの全国大会に駒を進めた課外活動自転車部。前日に会場入りした選手とサポートメンバーは会場の下見も完璧に、気負うことなく大会を待ちました。当日は駆けつけた応援メンバー、保護者の皆さんや安全協会会長様、石川警察署長様、教育長様からの声援を力に持てる力を存分に発揮しました。目標の入賞にはわずかに届きませんでしたが、充実した大会となりました。たくさんの方々からの激励は、自転車部員一人一人が実直に練習に取り組んできた証ですね。お疲れ様でした。



合唱・合奏部共に、堂々の金賞

8月9日（木）に、石川地区小・中学校音楽祭が開催され、課外活動合唱部・合奏部が参加しました。

音楽祭は、コンクールの部も兼ねますので緊張はぬぐえませんが、それでも、会場に向かうまでの僅かな時間を惜しみ、学校で練習を繰り返したあと、バスに乗り込んだ子ども達。この夏は開催が昨年度より2週間近く早まったため、仕上がりには不安はあったのですが、発表後には、審査員の方々から「この時期にここまで創り上げたことに、子ども達はもちろん指導者の先生に敬意を表します。」という労いの言葉を頂きました。

堂々の発表の結果は、両部共金賞。次のステージとなる、県大会（9月）の切符を見事手にしました。



看板に交通安全の願いを込めて

交通安全たて看板作りも順調に進んでいます。毎年この時期、町から依頼を受けて立て看板に向き合うのは、本校の広報員会（4年生以上が所属）。図案からの全てを自分たちで制作しますが、普段よりも何倍もある巨大なキャンバスを前に、当然及び腰にもなります。悩みながらも担当の先生方からの適切なアドバイスを受け、ようやく思いが形となってきました。完成まではもう少し時間がかかりますが、立て看板に交通安全の願いはしっかりと込められています。



お盆明けの来週から、課外活動部（合唱・合奏・陸上）の練習再開を予定しています。まだまだ暑さが和らぐ気配はありませんので、中止も含めて十分配慮しながら実施していきます。